

## 加蘇地区

開催日：令和3年11月9日（火）

開催場所：加蘇コミュニティセンター

参加議員：

橋本修、宇賀神敏、石川さやか、鈴木敏雄、小島実、増淵靖弘、大島久幸議長

発言者 地区名	発言要旨	回答要旨
A 班		
下久我	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人口減少社会において、いかに交流人口を増やすかを考えたときに、耕作放棄地や野生鳥獣の問題、荒れ果てた自然のままでは自然環境を売りにして人を呼び込むことはできない。山里を環境整備し、綺麗に維持管理する事業に対し、市として応分の支援をすべきと考えるが、どのような支援策があるか。</li> <li>また、協力金程度の値段で山間地の安く広い土地に企業誘致してはどうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人口減少に対し、どのような戦略が必要かを知るために市民マーケティング調査を実施しました。スペースが朝は30分、夜は1時間遅くまであれば東京で働いても鹿沼に住むことも可能に。鹿沼市は住むには土地が安く、地盤も固く地震にも強く安心。例えば過疎地区に移住した場合100万円出すなどという税金の使い方もあるのではないかと思います。</li> </ul>
宇都宮市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・埼玉の大学で建築を学んでいる。鹿沼市の一番の魅力は自然豊かで川がきれいなところ。山の生き物の鳴き声を聞き、川の水の透明さに感動し、住んでみたいと率直に感じた。友人と一緒に自然を楽しめる環境があれば、もっといろいろな人が訪れたいと思う。</li> </ul>	<p>ご意見として賜りました。</p>
加園	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伐採業者が作る作業道が水道になり、それが原因で台風のとくに山が崩れている。そういったことに対し、適切な指導を行ってほしい。</li> <li>また、意見交換会資料p16の提言4「防災対策の強化」については、河川環境だけでなく、森林の管理が重要。一般市民にも山と川がつながっているということを認識してもらうため</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予算要望で森林の林道整備を提言しています。(これは持論だが)毎回災害が起きてから何十億円かけるより、先手を打って予防的に森林整備に1億円かければ災害を未然に防げるのではないか。</li> <li>・提言4については、河川整備と森林整備と併記したいと思います。</li> </ul>

発言者 地区名	発言要旨	回答要旨
	に、「河川のための森林」と付け加えてほしい。	
加園	<ul style="list-style-type: none"> <li>・加蘇地区ふるさとづくり協議会の環境PR担当として写真や動画の発信を始めて2年になる。市でもSNS発信はしているが、個人レベルで発信している人も含め、地域の魅力を発信する活動をしている人の横のつながりを持たせたネットワークを構築してはどうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鹿沼市のシティープロモーションには、お金をかけていない。コスパを上げるためには、もっと思い切った予算配分をすべきだと思います。</li> <li>・組織を作ることに 대해서는 政策調査研究委員会に繋げていきます。</li> </ul>
下久我	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光の目玉となる、おもてなしのできる施設が必要。南摩ダム関連の付け替え道路により、加蘇地区に立ち寄ってもらうには何が必要か。子供もお年寄りも遊べるところ、楽しく集えるところを構築してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・立ち寄ってもらうには、ただ単に自然がきれいだというだけでなく、特徴ある目玉になるものが必要です。また、スイーツや蕎麦など、商売として潤わなければゴミが増えるだけになりかねません。様々な意見をお聞きしながら考えていきたい。</li> </ul>
加園	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内消防団の分団としては2番目に高齢となり、団員確保が難しい現状。若い人は仕事の関係でなかなか入団してくれないので、市として団員の加入を促してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消防団の団員証で飲食5%引きにする勧誘方法よりも、有給や手当について抜本的に見直すなど、会社の理解があるかどうか重要です。政策調査研究委員会につなげます。</li> </ul>
加園	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市部の方は車がない人も多いので、電車とバス、バスとバスの時間の乗り継ぎサービスをもっと充実させてほしい。</li> <li>・公園の維持管理をきちんと行ってほしい。また、多世代が多様に活動できる公園や、景観がいいので気持ちよく走れるコースがほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バスや電車の乗り継ぎについては高校生からも多くご意見がよせられています。ご意見として承ります。</li> <li>・様々な議員が新たに大きな公園を要望していますが、市の面積に対する公園の敷地面積が基準を満たしているため実現していません。今後も安心して遊べる公園整備を要望してまいります。</li> </ul>
下久我	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第二弾の菜園付き住宅がほしい。市のPRにもなるし、JターンUターンを促すにも受け入れるところが必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今はネットで調べて教育費と子育て費用が安ければ田舎でも移住してくれる時代です。子育て世代が住みやすくするために、市民マーケティング調査特別委員会を設置しました。</li> </ul>

発言者 地区名	発言要旨	回答要旨
上久我	・2年前の台風災害で河川からの土砂や材木が流れてきた。「市が管理する準用河川や雨水対策の水路の整備強化」とあるが、市以外に県にも要望してほしい。まだ直っていないところもある。	・令和台風の時は全会一致で市長と知事に要望書を提出しました。それが国にも届き粟野の激甚災害の指定も早くやってもらうことができました。今後も適宜国や県への要望を行ってまいります。
野尻	・ここ数年で野尻地区も少子化が急激に進行し、とにかく若者がいない。大きな酪農家も後継者問題で存続できない現状。 宅地に適した土地はあるので、農地を宅地変換できるよう、10年先でもいいので方向性考えてほしい。	・政策調査研究委員会につなげてまいります。
下久我	・農業委員会の方で、土地は農家でないと売買ができないことになっている点を緩和してほしい。	(時間切れできちんとした回答ができませんでした。)
B班		
上久我	・南摩ダム整備により、久我に抜ける道を通る人はバイクや自転車も含め増加している。今後も多くのアウトドア関係の人が訪れる可能性が高いことから、鹿沼市を盛り上げるためには、ダムの周辺整備だけでなく、西大芦や加蘇地区の道路整備やマップの整備等もお願いしたい。 また、新鹿沼駅の西口を利用している人も多くいるため、もう少し使いやすくしてもらいたい。	・南摩地区だけでなく久我、加園などの周辺の地域にも観光客が訪れるよう鹿沼市を盛り上げていけるよう考えていきたいと思います。
加園	・新鹿沼駅の東側(ヨークベニマルから鹿沼商工)の道路は、車がすれ違いうのもぎりぎり。せめて踏切だけでも拡張を進めてもらうよう議会からも要望してほしい。	・地権者の考えもあると思いますが、広げていけるよう議会としても考えていきます。

発言者 地区名	発言要旨	回答要旨
加園	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サイクリングを楽しむ観光客が増え、自転車を積んできた車を駐車場や河川敷等に置いて行ってしまう。車だけを置いて行かれると他の方が止められず迷惑になることもあるため、市として駐車できるスペースの確保し、マップで案内するなどしていただきたい。</li> <li>また、観光地になり、問題になる前にトイレなど必要な設備は整備してもらいたい。</li> <li>・県外からきて道が狭くなるのが分からずにレッカーを呼んでいることが二度ほどあった。看板などで注意喚起をしていただきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サイクリングする人のための駐車場やトイレを整備する必要があります。令和 6 年のオープンまではまだ時間がありますので、要望して参ります。</li> <li>・大雨のときなどに事故になる可能性があり、危険ですので看板を設置してもらおうよう要望して参ります。</li> </ul>
野尻	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏休みなどは、出会いの森周辺に訪れた方がセブンイレブンに集中し、地元の人が行きにくくなってしまう。買い物ができる施設がもっと増えるといい。</li> </ul>	ご意見として賜りました。
上久我	<ul style="list-style-type: none"> <li>・久我の小学校の体育館の屋根が雨漏りで真っ赤になっている(業者が入ったが雨漏り箇所が突き止められなかった)。整備して、多目的な施設にしてほしい。</li> <li>・校庭の出入り口にはチェーンがかかって入れない。土日は駐車場として開放できないか。</li> <li>・雨の日は野球部などが活動する場所がないので、体育館を使わせてもらうことは可能なのか。</li> <li>・校庭は草がぼうぼうで植木は高くなりすぎてもう手が付けられない。整備すれば利用価値があるのでは。</li> <li>・プールの水を防災用の水として利用する話を聞いたことがあるが、そのような話があるのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・久我小の校舎、体育館、プール、校庭等については、今後どのように活用していくのか執行部に再度確認させていただき、諸々の修繕については議会としても考えていきたいと思っております。</li> </ul>

発言者 地区名	発言要旨	回答要旨
下久我	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 下久我の岩の下はいつも大雨で道路に水が乗ってしまい、久我からの避難経路が断たれてしまう。川底の砂を深めにさらってもらいたい。</li> <li>・ 水が出たときにどうするのかを決めてもらいたい。毎回木戸橋に木が引っかかってしまう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県の事業ですが、現在は南摩ダムに使う砂を思川から採っており、採った砂の用途を決めてからでないとい採れないことになっています。また、砂は採りすぎると堰が壊れてしまう可能性もあり、河床が高くなることで河川が決壊する問題は、下流から全県(国)的に解消していくしかありません。</li> <li>しかしながら地形を熟知している地元の方が、経験を基にご指摘下さる危険箇所は注視していく必要があると考えます。</li> </ul>
加園	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ヘリポートの場所を決めて知らせてほしい。現在の避難所は数的にはあるが、全て危険な場所にある。安全な避難場所を確立してほしい。</li> </ul>	<p>( 答弁なく次の話題に移行してしまいました )</p>
上久我	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 6年前からお願いしているが、道路の白線( 両側もセンターも下手したら横断歩道も ) が消えている。</li> <li>・ 少子化対策としては、もっと大胆に子育て世代には全額負担するなど、目玉になる施策を実施してもらいたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県道なので県に要望をしてみます。</li> </ul>
加園	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大規模校と小規模校の偏りが大きすぎる。大規模校は移動するだけで一苦労。学区をなくしてもいいのではないか。鹿沼市も宇都宮市の城山西小のように学区外から来ることだけを許可すればよかった。</li> <li>・ 子どもが減り、野球もできない学校がある。何とかしてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 鹿沼市はかつて学校選択制によって、小規模校は更に過疎化が進んでしまいました。学区外からの入学のみ許可すればいいのではないかと思います。子育てをするには田舎の方がいいと考えている人もいるのではないのでしょうか。</li> </ul>
上久我	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ PTA 会長をしていたときに、宇都宮でやっている特認校制度を提案したが、鹿沼市ではできないと一方的にいわれた。もっと柔軟に対応してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校の人数については何とかしていきたい。</li> </ul>

発言者 地区名	発言要旨	回答要旨
野尻	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育ての助成金はあるが、周知が徹底されていない。</li> <li>本来もらえるはずがもらえないことがある。せめて子育て世代には申請を促してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鹿沼市のライン等の SNS を今後制度の周知にも使えると思うので、今後ぜひ活用しいただきたいと思います。</li> </ul>

## 板荷地区

開催日：令和3年11月10日（水）

開催場所：板荷コミュニティセンター

参加議員：

梶原隆、大貫桂一、石川さやか、佐藤誠、横尾武男、関口正一、大島久幸議長

発言者 地区名	発言要旨	回答要旨
A 班		
板荷	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 常任委員会の活動内容の中の「河川災害は、現状復旧を基本する」ことについて伺います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コンクリートブロックで造っているところもありますし、今後も要望して行きます。</li> <li>・ 激甚災害の指定になれば国からの補助の対象となり、災害前の状態に戻す現状復旧が原則でしたが、一部改良復旧が認められています。今後も引き続き改良復旧を要望してまいります。</li> </ul>
板荷2区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高齢者の一人住まいの方や、黒川の河川付近で氾濫の恐れがある方が転居しており、1年前と比較すると53世帯から48世帯に減少している。周辺の田んぼの耕作者は2軒しかいなくなり、耕作しなければ原野になってしまう。</li> <li>・ 子どもの減少により板荷小学校は存続出来るのか、これからの対策に関心を持っています。</li> <li>・ コロナによる米価の下落の問題を考えていただきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 耕作放棄地については鹿沼市全体の問題となっています。現在、都会からの就農者募集事業を実施しています。にら、いちごなどの換金性の高い作物の就農者は入りますが、担い手不足の対策は進んでいません。また、地区によっては大規模農家もありますが、地理的要因が大きいと思われます。</li> <li>・ 15歳まで医療費無料化や出産一時金の補助金増等、子育て環境の改善を推進していますが、決め手に欠けているように思います。</li> <li>・ 米価については市単独では難しいので、国を動かし備蓄米として買い取る必要があります。</li> </ul>
板荷4区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 農業は米だけでなく、4区で行われているそば作りなど、小さい農地を集積する政策を考えてほしい。地元の人は大規模集積したいと思っても高齢化で耕作できないため、他からの就農者</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 若い世代の人口流出を抑えるためには、換金性の高い作物を作り、農業で生活出来る姿を若い人に見せることが重要です。自然豊かで、しっかりとした収入になる働く場があり、安価</li> </ul>

発言者 地区名	発言要旨	回答要旨
	<p>が農業をやりやすい環境を提供したり、大型機械化して農業の合理化を図れるよう考えてほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・旧市街地の道が広がり、新しい建物ができているが夕方 6 時には人が歩いていない状況。街の中心は東には伸びているが、市として街づくりをどう考えているのか。</li> <li>・清掃事務所のところの桜並木はすごい財産。露天商に出店してもらったらどうか。</li> </ul>	<p>で広い土地に住めるという魅力を活かしていきたいと考えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東部台地区の方は集客等に努力されているが、更に資源を生かし切る策はあるかもしれません。</li> <li>・板荷地区にはきれいな川と、釣りができることなど板荷の魅力があります。都会では味わえないことです。</li> </ul>
<p>板荷 9 区 板荷 7 区</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者がやっとの思い出作った作物をサルに採られてしまう。有害鳥獣対策はどのようにしているのか。 (女性や子ども、高齢者はサルになめられてしまう。)</li> <li>・銃でサルは駆除できるのか。</li> <li>・中学校付近にサルが親子で出て、駐在さんに出動をお願いした。人的被害が発生しないような対策してほしい。</li> <li>・同じところの支柱が何度も壊され困っている。2 の柵をしても鹿が飛び越え、支柱を曲げる。</li> <li>・地域の夢事業で柵を板荷全域設置しているが、柵をしても被害が減らな</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西大芦の事例として、今は 2 のワイヤーメッシュの上に電気柵を設置することが最も有効な対策と考えられます。補助金 5 万円では難しいので、今後も増額を要望して行きたいと思えます。</li> <li>・個人的には、試行錯誤の末、蚊帳のように全部柵上に網を張ったり、柵の中で犬を放してサルの侵入を防いでいます。</li> <li>・サルは、有害鳥獣駆除では銃による処分も認められていますが、処分がしにくいのでなかなか撃たない傾向があります。</li> <li>・サルの行動範囲は 2 km 四方ぐらいで、現在鹿沼市では発信機による確認も実験されています。</li> <li>・1 以上、草刈りの管理がされないと壊されます。</li> <li>・野生鳥獣は増えていますが、猟友会の会員が高齢化により減少しているの</li> </ul>



発言者 地区名	発言要旨	回答要旨
	<p>い。数を減らす方法を市で考えてほしい。猟友会会員も高齢化により減少している</p>	<p>が課題です。 ・野生鳥獣について、特にサルの対処方法を確認し回答します。</p>
板荷 1 区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の統廃合については、地域の核なのでなくなるのは寂しい。</li> <li>・私の時代は学年 60 人程いて、3 学年でその 3 倍いたが、今は運動会で、騎馬戦も出来ない人数に減ってしまった。</li> <li>・鹿沼に住むと、特徴的な教育があり、教育レベルが高いとなれば他の地区からでも車を使い通勤してくれるはず。子育てする世代の方にとって、教育が一番の魅力ではないか。</li> <li>・コミュニティスクールの取り組みについて、うまくやっていけば何か生まれてくるのではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て世代は部活動等の社会性や学力の面から小規模校は統廃合して、教育環境を整えるべきではあると考えていますが、高齢者の方の抵抗があるようです。</li> <li>・いずれ板荷地区でも統廃合の話は出てくると考えられます。板荷地区では、小中一貫校としてモデル校として始まっていますが普通は校庭などが隣接していますが、学校敷地が離れている状況でモデル校としては、珍しいケースです。これが成功すれば他の地域でも行いたいところですが、成果は聞こえて来ないのが現状です。また、本市の学力調査の結果は全国平均と同等かやや劣るといった結果が続いています。</li> <li>・コミュニティスクールは、地域の方が小中学校に入り、手助けをし、地域全体で学校の課題だけでなく、地域の課題にも学校が核となり取り組みましようという考え方です。コミュニティスクールはとても大事なキーワードです。</li> </ul>
板荷 3 区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東武駅があり、JRにも近い。ライフジャケットで川下りができる自然体験交流センターもあるが、ばらばらにあるので、組み合わせ魅力を上げる。</li> <li>・学校の統廃合については、行政がコストだけを考えて学校を無くせば、子育て世代が来なくなり高齢者ばかりになり、いずれみんないなくなる。</li> </ul>	

発言者 地区名	発言要旨	回答要旨
	<p>宇都宮市立城山西小や小来川中の取組みでは、他の地域から子供を呼び込んでいる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティスクールについては、どのような人材を送り込むのか教員の力量が様々だ。</li> <li>・板荷では水道の問題があり、過去のアンケート調査では、上水道区域に否定的で、取り出し経費が掛かることを強調し、回答を誘導しているように感じた。今、再度アンケート調査をすれば答えは変わるはず。今は板荷として水道入れてもらう意見が強いと思う。小来川まで水道が来ていて、落合にもあるのに、板荷に入らない方がおかしい</li> <li>・自治会に加入しない人が増えていて、ゴミステーションを自治会が作り管理していても、未加入者が利用することが出来る。自治会費は高額だし、加入することの利点は何なのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・難しい問題ですが、教育委員会に適切な人材送り込んでもらうよう要望します。</li> <li>・再度アンケート調査を実施した方がいいのかもしれませんが。上下水道部によく話をおきます。</li> <li>・本日の総務常任委員会で自治会に関する調査したいとの意見が出ていました。</li> </ul>
B 班		
協議会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・台風 19 号の時に上がった板荷小体育館の問題点は、高齢者の避難者が多いため、入り口を広げていただきたい点と、トイレの洋式化についてです。避難所であることから改善をして頂きたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校のトイレの洋式化は校舎が優先的に進められているが、避難所である点を踏まえ改善を図るよう要望してまいります。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市道の改良工事の要望書を提出しているが、回答としては「優先順位を踏まえ」とのことだった。優先順位について詳細を教えてほしい。(柿沢橋から 750 、元足立区の土地付近までの区間) 現在は 1.8 の幅しかないが 白沢橋から柿沢橋の付近。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県道か市道課、交通量や人の通りが多いところ、危険箇所等を優先しています。議会としても進めていくよう、政策調査研究委員会につなげてまいります。</li> </ul>

発言者 地区名	発言要旨	回答要旨
協議会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 防犯灯の LED は 5 年の対応年数となっているが、電気器具の補助金を増やしてほしい。</li> <li>・ 太陽光付きの LED はあるか。</li> <li>・ 県道が暗いので県に要望したが、県からの回答としては防犯灯で対応してくださいとの回答だった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自治会で設置するのではなく市として設置するよう訴えていきます。</li> <li>・ 太陽光付き LED は過電流で壊れやすく、コストも高い点が課題として上げられます。</li> <li>・ 新規でつける場合には各自治会からの要望必要です。現在も不足しているところがあれば地域の要望として取りまとめていただくとありがたいです。</li> </ul>
協議会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 獣害はサルが一番の問題点となっているが対策はあるのか。</li> <li>・ 板荷地区では来年度までに柵は張り終わる予定。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全てのシカは柵では防げませんし、サルは頭がいいので、策の中に入って食べ物なら何でも食べてしまいます。</li> <li>・ 被害を撲滅することは難しいですが、今後とも一緒に対策を考えていきたいと思っています。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ヤマビルの被害状況はあるか。林政課より注意喚起があり地域に周知している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 山で農作業が終わり、夕刻にヤマビル被害に驚くことがあります。現在は発生していません。</li> </ul>
栗原	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地下水の問題点について、鉄分が多い、フッ素が検出された。上水道区域は無理としても、井戸掘りの補助を充実してほしい。浄水器補助を受けたが 23 万円掛かった。</li> <li>水質検査はお金がかかるし、飲料用は購入している。</li> <li>水道を入れるに道路沿いと離れた家では工事費に差があることを考えることが必要。</li> <li>井戸を掘ったら補助金を出してもらいたい。8 掘るのに10 数分で掘れて、16 万円です。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 上水道区域が入れば安心ですし、一番だと考えます。</li> <li>政策調査研究委員会につなげて参ります。</li> </ul>

発言者 地区名	発言要旨	回答要旨
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小来川付近では、ゴミの問題が発生している。災害復旧工事が終われば川遊び客が来る可能性はあると思う。だんだん悪質化しており、山間部では増えている。また、踏み切り等でのポイ捨ても発生している。</li> </ul>	<p>(議員側からの質問)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大芦川のように、夏の川遊びで他の地区からの迷惑行為はありますか。</li> </ul>

## 東大芦地区

開催日：令和3年11月12日(金)

開催場所：東大芦コミュニティセンター

参加議員：藤田義昭、加藤美智子、舘野裕昭、大貫毅、津久井健吉、鰐原一男、阿部秀実、大島久幸議長

発言者 地区名	発言要旨	回答要旨
引田	<ul style="list-style-type: none"> <li>・議員定数は条例で24人となっている。現在23人だが、人口が減っているのだから23名は多いのではないか。他の皆さんも思っているけど言わないのではないか。考えをお聞きしたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの議会報告会・意見交換会では、「議員定数は減らすべきではない」との意見や、「議員が減りすぎてしまうと地域の声が届かなくなる」という意見も出ました。</li> <li>議会では、議会改革特別委員会を設置し、定数について議論してまいりましたが、「人口が減っているのだから20人まで減らし、身を切る改革をすべき」との意見や、「人口が何万人になったら20人に減らすという目安を設ける」との意見がある一方で、「多くの市民の声を聴くには多様な人材が必要で、地域、性別、年齢を考え、一定程度の定員を守るべき」との意見もありました。最終的には、人口規模が同等の市や県内他市の状況を鑑みて、当面は現状を維持するという結論に至りました。</li> <li>今後も議員の報酬や定数については、市民の皆様のご意見をお聴きしながら議論してまいります。</li> </ul>
下沢	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「幅広い年齢層の運動習慣」の健康マイレージについて、人生100年時代、皆さんができるだけ健康で長寿を楽しめるという地域社会をつくっていくことが大切。しかし、市の進め方がわかりにくい。市民誰もが自由に参加して何らかのメリットを頂けるシ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご意見の通りだと思います。今回、私たちも文教民生常任委員会の継続調査で検討しています。議会でも十分に研究し結論を出していきたいです。</li> <li>市民の方々が、健康で長生きしていただけるような方策を考えていき</li> </ul>

発言者 地区名	発言要旨	回答要旨
	STEMをもっと工夫してはどうか。	いと思っています。
A グループ		
引田	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PTA 会長として「地域と学校が一体となって子供を育てていく」コミュニティスクールの取り組みが周知されているが、それ以前に人口減少が問題だ。近所にも独身の方が多く、お嬢さんを迎える方もいるが、人口は減っている現状。議会としてどう考え、対応しているのか。</li> <li>・何かを極端に変えるのは難しいが、本当に何か策を考えないと人口は増えない。実際に転入して下さる方もいるので、今後も住み続けてもらえるよう大事にしていかなければいけない。</li> <li>・田舎に住むメリットがないなら逆に作っていかなければ人口は増えない。例えば、田舎に住めば税金やガソリン代が安くなるなどの優遇措置ができないか。また、前日光牧場のような場所は税金で運営しているのだから、もっと魅力を高めないともったいない。</li> <li>・実際そこに住む若い人にとってみると、人口問題はどのような話になっているのかと思う。人が住まない理由として、電線への倒木による停電など、山間地で生活をしていく上での心配もあると思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国では令和 5 年度までに全地区にコミュニティスクールをつくる計画があり、鹿沼市ではモデル校として 4 校行っています。</li> <li>・人口減少対策として出産費用の補助など、様々な子育て支援策を実施していますが、出生率は上がらず、鹿沼市で生まれる子供の数は年間 600 人を切っています。 日本全体としても人口が 1 億人を切り、たとえ 7000 万人になっても成り立っていくような施策が必要とされています。</li> <li>・鹿沼に住んでもらえる若い人たちが増えないと人口は増えない現状で、「ここに住んでいて幸せだ」と感じられる幸福度を含めたまちづくりが大切になってきます。</li> <li>・鹿沼市は都会から 2 時間で来られることを売りに、「田舎の魅力」を打ち出していくことが必要なのではと思います。</li> <li>・少子化対策についての議論は、議会としてもっと一般の若い方に議論に加わっていただき、その内容を発信できる体制をとっていきたいと考えています。</li> </ul>
上日向	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最近ひなた保育園が移転し、きれいになったが、小学校は次々に統廃合され、西小もいつまで存続できるのか見通せない中、子どもを産んでも実際にここで育てていけるのか不安で</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少子化対策として、要望がある度に出産補助や保育費の減免、給食費等について検討されています。他市では給食費を無償化したりしていますが、人口は増えていません。出会い、</li> </ul>

発言者 地区名	発言要旨	回答要旨
	<p>しかない。</p> <p>子育て、出産支援に焦点がいきがちだが、そもそもこの地域で子供を産み育てたいと思えず、一端の生活ができるかを考えると不安で、若い人は市街地に出てしまう。</p> <p>極端な考えではあるが、必ずしもここに人を留めず、地区ごとでの役割を明確にし、例えば出会いの森だけではなくキャンプ場をどんどん整備し、お客さんからの収入で潤うよう、「東大芦は観光」というように特化してはどうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・空き家をリフォームしてきれいにし、移住者を呼び込む取り組みについての情報が、ホームページに載っているだけで、きちんと住居を探している人に届いていないように思う。不動産屋からも、一戸建てが 500 万円で買えることを、もっと情報発信してほしい。</li> <li>・若い人は買い物や病院、公園など便利などところに住みたいので、星の宮公園(貝島町)のように、周りにきれいな分譲地ができればそちらに住んでしまう。</li> </ul> <p>使っていない農地に公園を新設したり、ヤオハンいちごパークをもっと整備するなど、人を呼び込む前の施策があるといいのではないか。</p>	<p>妊娠、出産、子育て、教育など、場面場面で行政が手助けし、人口減少に歯止めをかけたいというのが願いですが、特効薬がないのが現状です。</p> <p>また、親の世代が東大芦地区に住んでいても、子供の世代は便利なところに分譲地ができるとそちらに家を建てて出て行ってしまいます。地元で家を建てて、子育て、教育ができる環境を整備していかなければならないと思っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・空き家バンクの情報はネットで見るようになってきました。できればリタイヤしたご高齢の方だけでなく、若い方にも来てもらえるような施策を進めていきたいと思っています。</li> </ul> <p>東大芦地区は世帯数約 1200 軒のうち約 70 軒が空き家で、既に空き家バンクに登録されている方もいると思います。市外県外から鹿沼に来てもらう施策にもっと力を入れるよう市に要望していますが、なかなか実績につなげていくのは難しい状況です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活圏として考えると、仰る通り買い物と医療と教育が充実していないとなかなか不安で来られないと思います。</li> </ul>

発言者 地区名	発言要旨	回答要旨
下沢	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の担い手育成については真剣に考えてもらわないと、簡単には増えない。</li> <li>・自分は父が亡くなり跡を継いで米を作っているが、何も分からず始めた当初、何の支援もなかった。外部からの新規就農者支援も大切だが、正直地元にいる人たちをまず大切にしてほしいし、農業に対するイメージも改善する必要があると思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の担い手がいないと荒廃農地が多くなるので国や県の制度を利用し、いちごや、ニラの就農者を募集して、毎年何人かずついらっしやっている。「いちごで年間1千万円の収入が得られます」という売り出し方で、2年間は生活収入の保障もつけている。このような制度をもっと拡大して、担い手になる人にきてもらうようにしていかなければならない。</li> </ul>
下沢	<ul style="list-style-type: none"> <li>・後継者問題については、親世代は自分と同じ苦勞を子どもに味合わせたくないため、子供には外に出て働けという方が多い。農業はきつい面もあるが魅力もある。</li> </ul> <p>国はコメが余っているから作るなという政策。いくら作っても需要がなければ値崩れは当たり前で、需要に合ったやり方が必要。農家は作る努力はするが売る努力はしない。自分で思った値段では売れないのが一次産業。このままではどんどん衰退してしまう。</p> <p>また、中国の生活スタイルが変わり、世界の穀物をどんどん買い占めてしまうというように、輸入に大きく影響されている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・牛を飼っている方は生き物の世話でなかなか休みがとれず大変な面もあると思いますが、経営手腕を若い方にご教授頂きたいです。農業は潰すわけにはいきません。</li> </ul> <p>農作物に付加価値を付けて商品化していくことも必要だと思います。</p> <p>国内産の穀物はどうか。(それほど需要がないと思う。)</p> <p>地区によって産業の特徴ありますが、東大芦地区は農業が多いですか?( 専業農家が多い。)</p>
酒野谷	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一農家が500万円もするコンバインを買ってペイできる状況ではないので、売り上げはわずかでも荒れ放題にするよりは農業公社に委託した方がいい。大規模な土地を借りて法人組織でやるのも一つの方法。</li> <li>・黒川の河川公園は、わざわざ障害物をつくって川の流れを阻害し、何度も同じように被災しては現状復旧して</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・激甚災害に指定されると現状復旧が原則ですが、市長も知事も3、4年で崩れる現状復旧ではなく、川幅を広</li> </ul>



発言者 地区名	発言要旨	回答要旨
	<p>余計なお金をかけている。そのお金で別の空いている土地に公園整備すべき。</p> <p>楡木小東側の護岸工事はわざわざまっすぐの川を蛇行させた。</p> <p>河川は県の管理だが、市を通して言ってもなかなか答えが出ない。堤防をもう少しかさ上げしてほしいけれどもやってもらえない。</p>	<p>げたり川底をさらうなどの改良復旧を要望し、今回の災害から改良復旧が認められました。栗野や黒川も少しずつ川底をさらったり断面を広くしていますが、今回ご指摘のところは現状復旧だったかもしれません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・確かに黒川の公園は10回くらい被害を受けています。</li> <li>・東大芦地区でも沢からくるところがやられました。</li> <li>・いただいたご意見等は精査して執行部なり県、国にしっかりと要望していきたいと思います。少しでも意見が実になるように努めていきたいと思います。</li> </ul>
<b>【Bグループ】</b>		
引田	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域全体が高齢化している。若い人が出て行ってしまっていてしまい、今年も小学校入学がゼロ。お年寄りがお年寄りを面倒見るような現状。何か原因があると思うが、どう考えるか。まず若者を引き留めて、鹿沼に住まわせるようにできないとだめ。</li> <li>・地域によっては都会から戻ってきて住んでいるところもあると思う。やはり働きやすいか働き口があるか楽</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少子高齢化については大きな課題として捉えており、総務常任委員会では少子高齢化の中で縮小せざるを得ない地域の中でどうやって持続可能な地域を創っていくのか一年かけて議論することになっています。</li> <li>また、最近の人口減少に関する調査研究によると、若い女性が好きなお店やレストラン、就職先があり、暮らしやすいかどうか人口減少を食い止めるポイントだそうです。近所の方から生活状況や結婚について干涉されるところより、都会のマンションで好きに暮らす方が選ばれる現状です。そのような調査結果を意識した地域づくりが必要なのかもしれません。</li> <li>・栃木県は製造業中心の産業構造で、若い女性が希望する職場は都会に集中しています。国はコロナ禍で地方都</li> </ul>

発言者 地区名	発言要旨	回答要旨
	<p>しく暮らしていける職場があるかどうか、そういう魅力的なまちづくりもあるのでは。</p> <p>・いちごなど、農業を活かして若者を呼び寄せる方法があるのではないかと。鹿沼市の取り組みが足りないような気がする。</p>	<p>市に本社機能の移転を進めており、そのような大胆な変化がないと難しいとおもいます。</p> <p>・酒野谷に移住されたいちご農家の方のお話では、こどもができてからは、都会を離れて人間らしい生活をしたい、田舎で農業をしたいと考えるようになり、そんな中農協や市の職員が熱心に誘致してくれたのでこちらに移住してきたという話でした。このような情報が都会で子育てする方にもっと届くようにすることで、若い人を呼び寄せられるのではないかと思います。</p>
引田	<p>・過疎化が進んでいる島で若い夫婦の生活を、国県市がバックアップして留まるということがテレビでもときどき流れている。</p> <p>子育て、教育にはお金がかかるので、鹿沼に住めば生活費を全部面倒見るなど、モデル的でもいいのでこの地域に住めばこんな恩恵があるんだよという思い切った施策提案をしてもらいたい。予算もあるので飛びぬけたことはできないと思うが、市議会議員のみなさんに期待します。</p>	
下沢	<p>・若い人が子供を産んだ後の医療費が大変なので、もっと積極的に医療費の助成についてPRした方がよい。鹿沼に来れば子育てがしやすく、働く場所があり、安心して子育てができる、お年寄りも安心して病院にも買い物にもいけるし、人とのつながりももてるようなまちづくりに努力してもらいたい。やはり安心が大事。</p>	

発言者 地区名	発言要旨	回答要旨
引田	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 17 年前、阿部市長時代の市政報告会で結婚推進事業が始まった。県内でも一番早くから少子化対策に取り組んできた。議会では少子化についてどんな議論をしているのか、何人かの議員にお願いしているが聞いたことがない。</li> <li>我々仲人会は会員 13 人で、自治会の高齢者や民生委員にお願いしてもなかなか仲人になってくれない。行政でもっと力を入れてもらいたい。</li> <li>・ 栃木県の結婚情報サービスでもインターネットを使っているが、やはり地元の信頼できる人に紹介してもらいたいということも聞いている。東京では、血液型から家系図まで調べて 2 泊 3 日の婚活旅行をしている業者もあり、相当お金はかかるそうだ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 最近お会いした 3 組の方に、どのように出会って結婚したのかをお聞してみたら、全てインターネットだということに驚きました。SNS で、同じ趣味を通して知り合った方が 2 組、ネット上の結婚紹介サービスが 1 組で、お互いの好みを入力するとちょうどいい人を紹介してもらえるサービスです。仲人会の皆さんに頑張ってもらいつつ、新しいやり方も取り入れていく必要があるという提案をしていきたいと思います。</li> <li>・ 確かにネットでは性格や周囲からの評判は分からないので、仲人会のように地元の方にしか分からない情報は重要だと思います。</li> </ul>
深岩	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 深岩ではイノシシとハクビシンの被害が地域の重要課題。イノシシの臭いがついた稲や野菜は商品にならないし、墓地も被害を受けている。ハクビシンはトウモロコシを食べてしまう。最低限の対策や、一部で電柵も行っているが経費が掛かる。市をあげて対策をとってほしい。</li> <li>・ 国庫補助の話だが、高齢化しているので組織を作るための事務ができない。一度取り組む会議をしたが、結局個別にやるしかないということになってしまった。</li> <li>・ 山の放置竹林が獣の住処になっている。市のほうで放置竹林をなんとかできないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ これをやれば絶対という対策がなかなかないのが現状です。板荷、西大芦、加蘇地区では 10 割国庫補助で柵を張ったりする環境整備をしていると思います。ただし、申請して次の年しか出ないということと、地域のみんなでやらなければならないので地域がまとまらないとできません。</li> <li>・ 一度張れば半永久的に使えるというわけでないので、点検して補修していかねばならなりません。それを維持管理できる体力が地域にないと難しいです。</li> <li>・ 昔は山仕事を専門にされている方が山の手入れをして、人が入っていたから野生動物も来なかったのだと思います。昔のように林業で食べてい</li> </ul>

発言者 地区名	発言要旨	回答要旨
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鹿の被害もあり、柵が低いと飛び越えてしまう。2メートルのワイヤーメッシュは重くて個人ではできない。どんどん高齢化していて、地域で取り組むのは今後難しいと思う。第三者が組んでやらないとよくなるらない。</li> <li>・費用をどうするかが問題で、先ほどのモデル事業もそうだが、やはり自治会にまともがないとできない。3年とか5年とか期間があって、継続できるとよいが、そのあとの費用がどうなるのかが分からない。</li> </ul>	<p>ける仕組みをつくれるのか、国をあげての政策や、根本的にイノシシを減らす研究が必要だと思います。市としてできることは、道具を補助することくらいだと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あれを山に張るのはかなり大変で、人手と体力のある人でないとできません。どこの誰がやるかが課題です。例えば里山の環境整備を障がい者の方たちを人材として活用することも、アイデアの一つとして考えられると思います。</li> <li>・例えば市から自治会の皆さんに環境整備の管理をするための補助金みたいなものを使えばいいのですが、地域で持続的にお金が無くなってもやれる仕組みをつくっていけるかなとなかなか難しい問題です。</li> </ul>
引田	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が子どもの頃、イノシシは出なかったが、今はどんどん増えている一方で猟友会の人足は足りない。例えば豚だけ殺すインフルエンザのように、特定の動物を殺す薬は作れないか。</li> <li>また、竹林とかボサボサしているところを刈るとかの支援もあると思う。市のほうで刈り払いをすれば補助しますよとしてもらい、地域の人にきれいにしてもらえればいいのでは。そういう支援はあるか？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県でそのような薬剤について研究していると聞いたことがあります。</li> </ul> <p>草刈りに対する支援については、モデル地区の深程などでは、きれいにすると国の補助金が出ていますが、高齢化してできないとの声も多いです。企業による地域貢献活動の一環で、ヤオハンの社員さんが板荷で柵を張るのを手伝って下さったこともありました。そのようなことも含めて考えていかなければならないと思います。</p>
引田	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土地改良について、何代も相続されていないと、現在の世帯主が大変な登記料を全額負担しなければならない。70歳、80歳となると年金生活なので、個人負担が大きすぎてできないのが現状。そのため、5年据え置き</li> </ul>	<p>ご意見として賜りました。</p>

発言者 地区名	発言要旨	回答要旨
	<p>の20年支払いで70歳、80歳の高齢者が農業をやっている。国の行政指導で何か支援できるよう考えてほしい。</p>	
上日向	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て中の若い方に鹿沼に残ってもらうために、せっかく調査した高校生の意見をもっと活用してほしい。また、市外から来ている高校生に、鹿沼の魅力をもっと発信してもらいたい。</li> <li>地域のチカラ協働事業については、他の地域での成功事例をアピールして、もっとこういうことをやればいいんだと、議員の皆さんに強かにバックアップしてもらえるとありがたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通学路に関する事など、いただいたご意見を参考にさせていただいています。地元の魅力については、我々大人が「鹿沼には何にもない」とか、人の悪口とか、ネガティブなことばかり言っていると、鹿沼は住みづらい町なんだとってしまうので、本当に鹿沼はいいところなんだということを我々大人が言っていかなければならないと思います。</li> </ul>
酒野谷	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大芦川沿いにサイクリングロードをつくるという話があったがその後どうなっているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出会いの森の先からずっと川沿いにつくるということで、県が管理道路を整備してということだったと思いますが、確認させていただきます。</li> </ul>

## 西大芦地区

開催日：令和3年11月18日(木)

開催場所：西大芦コミュニティセンター

参加議員：

鈴木紹平、鈴木毅、阿部秀実、市田登、谷中恵子、小島実、大島久幸議長

発言者 地区名	発言要旨	回答要旨
草久	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人口が同規模な自治体と比べて議員報酬が適正か分からない。議員報酬が少ないと感じるので詳細を教えてください。</li> <li>他市の議員報酬を参照できるよう載せてもらいたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・議会改革特別委員会の中で議員報酬が適正か、近隣の他市との比較もしています。例えば宇都宮市 67 万円、さくら市 38 万円と、人口が同規模な自治体と同額程度になっています。</li> </ul>
上大久保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・P14 予算要望「環境経済部門」(3)の農業用施設等の機能を維持するため、原材料支給事業増額及び支給上限額の撤廃について説明をしてほしい。農業用水が壊れてしまい農業をやめてしまっている事例もある。そういった事の無いように早く要望を通してもらいたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業用の水路やそれに付随する農業用道路が災害にあって壊れたしまった場合、上限が 10 万円、年間で 120 万までとなっています。支給上限を撤廃し、農業用水として機能できるようにしていくため、議会からも予算要望しました。</li> </ul>
草久	<ul style="list-style-type: none"> <li>・常任委員会をどのように選任しているのか教えてください。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各議員の希望で決めています。当初 4 つの委員会で行っており、委員会の任期は 1 年なので全ての委員を経験できました。4 年間同じ委員会を続けることも可能です。</li> </ul>
A 班		
草久	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夜に帰ると町に人がいないので寂しい。</li> <li>・地域の住人が高齢になっているので山の管理（特に道路沿い）ができないので、日中でも日陰が多く、冬にはアイスパーンが各所にできて危険。山の所有者がわからず困っている。</li> <li>・地域の雇用について、期待していた</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>要望、意見として賜りました。</li> </ul>

発言者 地区名	発言要旨	回答要旨
	<p>西大芦小学校の利活用もなくなった。対策をしてほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住人が高齢にはなっていて、10年後に地域おこしができる人がいなくなってしまう。今のうちに市としての対策が欲しい。</li> </ul>	
上大久保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・川の草刈りをすれば、そこで遊びゴミを置いていく状況。草刈りをしなければ野生鳥獣の住処になる恐れもあるほか、景観も悪くなってしまうので何か対策をしてほしい。</li> <li>・市の予算は人口割りで配分している話を聞いている。そのため里山の改善などが後回しになっていると感じる。少しずつではなく、どこかで一挙にやってもらいたい。</li> </ul>	要望、意見として賜りました。
下大久保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住みやすい市街地への人口流出は避けられないが、せめてスピードを緩めていくことが大事だと思う。道路整備（冬アイスバーンなど）の対策や、伐採できないほど大きくなりすぎた木を何とかしてほしい。</li> </ul>	要望、意見として賜りました。
草久	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人口減少対策として、南摩ダム関連や大きい公園を作るなどして、若い人を集客し、地域の良さを知ってもらい、最終的に移住してもらえるようにしてはどうか。</li> </ul>	要望、意見として賜りました。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民マーケティング調査は10年20年後を視野に入れて調査しているのか。どんなビジョンなのか。人口減少は、若い世代が少ないことが一番の問題。年間700人程度の人口は10年後には500人弱になるのでは。自治会も人がいなくなってしまうので対策をしてもらいたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前議長が特別委員会として来年度策定される第8次総合計画に取り入れてもらうため子育て世代を対象にアンケートを取りました。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水道の計画はどうなのか。山の管理が</li> </ul>	要望、意見として賜りました。

発言者 地区名	発言要旨	回答要旨
	<p>できていないので井戸を掘っても水が出ない。深く掘るため高額な費用がかかる。又、水が出てもフッ素などが原因で飲み水にならないこともある。個人でなく地域の問題として水道計画をすべき。</p>	
B 班		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空き家対策・人口減少問題について、民間企業にも積極的に男性も育休を取るべきだという意識づけをしていくよう議会でも議論してもらいたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定住政策として、空き家バンクや、移住お試しの家を運営しています。定年後の田舎暮らしよりも若い世代に安く空き家を譲渡できるよう受入れ体制づくりを地域として行っていく必要があります。現在空き家は約1600戸あり、その中で登録は約300戸です。</li> <li>・また、空き家を解体すると減免措置が無くなり税金が高くなってしまったため、解体が進まないという問題があります。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・河川の環境の、ゴミ問題について伺う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県と市で協力し、公衆トイレや駐車場を設置しました。地域の人と知恵を絞りながら対策をしてまいります。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育館を建設してもらえる話があったが、予算化できないとして計画がなくなった。納得できる説明が欲しい。</li> </ul>	<p>要望、意見として賜りました。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民マーケティングのアンケート結果では、子育て・少子化問題の対策は公園整備や建物(施設)を作ることにように見て取れるが、それよりも金銭面の補助があった方が良いのではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市では1人子供を産むと42万円の補助が出ますが、実際は50万円以上かかってしまいます。今回、議会で増額を求める意見書を出しました。</li> <li>・公園整備では、鹿沼市にはない大きい公園(例：壬生わんぱく公園など)がほしいとの声がたくさん出ました。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・兄弟、親戚がいない高齢者の支援策はあるのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活保護や成年後見人制度、介護保険の中で生活支援を実施しており、この3本柱で独居老人が自分で生活</li> </ul>



発言者 地区名	発言要旨	回答要旨
		<p>できない人を支援しています。また、地域包括ケアシステム専門の市職員がいて、対応をしています。成年後見人制度は民法で代理人を立て、親族がない場合に弁護士・司法書士が代理人となります。</p>
	<p>・国・県・市は申請しない限り何もしてくれない。</p>	<p>・地方自治法を変えなければ実現しないので、これを変えていくのは難しいです。法は日本の法律なので市議会では変えられません。</p>
	<p>・市民税を安くしてもらいたい。地域に学校がない、医者もない、役所も遠い、ガソリン代もかかる、バス代もかかる。大芦地域だけ市民税タダなど、できないのか。</p>	<p>・市としては、市民の公平な納税が理由としているが、この地域に住めば市民税減免という意見は良いと思う。議会で検討させていただきます。</p>

発言者地区名が聞き取れず記録できなかった発言については、「発言者地区名」の欄を空欄にしています。